

三、年議費用全額会社負担也  
 四、解雇手当を制定也、但し一年勤続に對しは月分以後一年増す毎に六月分  
 五、年議に因り他社に借入せる者も出さざらん事  
 六、皆勤手当を支給也  
 七、残業は一時間以上五割増三時間以上倍増也  
 八、便服係原料は全額会社側負担  
 九、年二回日給の一割以上を昇給也  
 十、年二回賞與を支給也、(月収一ヶ月分以上)  
 十一、全課長を即時解雇し各課長は任業員の久通也  
 十二、創立記念日以外日給全額支給也  
 十三、退職金は五分間隔也  
 十四、一月以上の仕事を勤めしは日給全額支給也  
 十五、退職金は勤続に對し一月一年増す毎に二月分  
 十六、台法二分は自由裁量也、(十日追加分)  
 十七、通し要求  
 一九三二年三月一日  
 英商研究社印刷所  
 七酒井五一郎 殿  
 研究社印刷所年議用一同

号第八四四號

7. 3. 26

昭和七年三月十七日

警視總監 大野 瑤 一 郎

内務大臣 大 養 毅 殿  
 社會 局 長 官 殿

株式会社研究社印刷所年議ニ關スル件(第三報)

要 旨 十日より連日労資會見セル事猶十五、兩者、態度甚硬なり  
 標記年議ニ關シテハ既報ノ通りナルカ其後ノ状況左記ノ通り  
 一、交渉状況

(一) 十一月午前十一時ヨリ午後一時迄  
 中込区神樂坂町一、ニ研究社印刷所樓上  
 會社側社長小酒五一郎 副社長 小酒井吉藏 佐村(新)  
 從業員側(組合表) 飯田吾平 露久保賢治